



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所

コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮地 國雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長

(氏名) 柴田 直行

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 0791-75-4160

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,908	16.8	1,201	45.3	1,046	57.3	548	83.9
23年3月期第2四半期	7,625	7.9	827	69.6	665	20.0	298	20.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 511百万円 (169.3%) 23年3月期第2四半期 189百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	59.31	—
23年3月期第2四半期	31.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	19,577	13,355	68.2	1,459.03
23年3月期	19,025	13,382	70.3	1,417.70

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,355百万円 23年3月期 13,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,364	6.8	1,994	21.3	1,996	31.1	1,240	60.3
								134.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	9,450,069 株	23年3月期	9,450,069 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	296,172 株	23年3月期	10,572 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	9,249,097 株	23年3月期2Q	9,439,616 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災により深刻な影響を受けたものの、寸断されたサプライチェーンは急速に復旧し、企業の生産活動は持ち直しの傾向が見られました。また、震災により停滞していた消費者マインドも回復の兆しが見られました。しかしながら、電力供給の制約や雇用情勢の悪化、中国での景気過熱抑制のための金融引き締めや米国の景気回復基調の鈍化、欧州の財政危機等による円高の影響が続いており、景気の先行きは一段と不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、主力のポンプ事業において、国内の設備投資は依然として厳しく本格回復には至っておりませんが、北米・中国等を中心に海外売上が好調に推移しました。一方、電子部品事業においては、当社グループ得意先での生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を受けましたが、そのサプライチェーンも急速に復旧し、東日本大震災前の水準に概ね回復してきており、全体として89億8百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

利益面につきましては、売上の増加及び原価低減等により粗利率が改善した結果、営業利益は12億1百万円（同45.3%増）、経常利益は10億46百万円（同57.3%増）、四半期純利益は5億48百万円（同83.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ポンプ事業

ポンプ事業は、ケミカル用モータポンプ、ケミカル以外用モータポンプともに海外向けで販売が増加しました。内訳は、ケミカル用モータポンプにおいては、主力のケミカル機器モータポンプが海外向けで増加し、冷凍・空調機器モータポンプが国内外で増加しました。また、ケミカル以外用モータポンプにおいては、電力関連機器モータポンプが海外向けで増加しました。

その結果、売上高は76億89百万円（前年同期比22.1%増）、連結売上高に占める割合は86.3%となりました。

また、営業利益は、売上の増加及び原価低減等による粗利率の改善に努めた結果、12億23百万円（同45.4%増）となりました。

② 電子部品事業

電子部品事業は、自動車用電装品の電子機器ユニットの需要が当社グループ得意先での生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を受けたため、売上高は10億51百万円（前年同期比8.7%減）、連結売上高に占める割合は11.8%となりました。

また、営業利益は、生産調整の影響及び製造ラインの移管費用発生により、29百万円の赤字（前年同期は25百万円の赤字）となりました。

③ その他

その他は、昇降機等の特殊機器の売上が減少したことから、売上高は1億67百万円（前年同期比5.3%減）、連結売上高に占める割合は1.9%となりました。

また、営業利益は、売上の減少等により、7百万円（同31.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は124億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億66百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が5億32百万円増加したことによるものであります。固定資産は71億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が29百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、195億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億51百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は49億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億81百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2億3百万円増加したことによるものであります。固定負債は13億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、62億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億77百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は133億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の増加4億54百万円があったものの、自己株式の取得4億43百万円及びその他有価証券評価差額金が79百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.2%（前連結会計年度末は70.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,509,834	3,076,874
受取手形及び売掛金	5,071,373	5,604,202
製品	1,002,401	875,877
仕掛品	1,177,254	1,586,530
原材料及び貯蔵品	797,939	818,297
その他	643,545	720,671
貸倒引当金	△215,694	△229,590
流動資産合計	11,986,654	12,452,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,638,436	2,579,666
その他（純額）	2,785,670	2,873,844
有形固定資産合計	5,424,106	5,453,510
無形固定資産	309,232	491,371
投資その他の資産	1,305,824	1,179,303
固定資産合計	7,039,164	7,124,185
資産合計	19,025,818	19,577,049
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,795,825	1,998,929
短期借入金	527,556	590,854
未払法人税等	470,227	320,352
製品保証引当金	51,748	53,934
賞与引当金	379,409	419,777
役員賞与引当金	25,000	14,000
その他	1,175,609	1,509,374
流動負債合計	4,425,376	4,907,221
固定負債		
退職給付引当金	808,956	836,225
役員退職慰労引当金	113,496	103,321
その他	295,630	374,485
固定負債合計	1,218,083	1,314,032
負債合計	5,643,459	6,221,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,116,823	2,116,823
資本剰余金	1,904,614	1,904,614
利益剰余金	9,629,368	10,083,523
自己株式	△9,501	△453,038
株主資本合計	13,641,305	13,651,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,900	54,421
為替換算調整勘定	△392,847	△350,548
その他の包括利益累計額合計	△258,946	△296,126
純資産合計	13,382,358	13,355,796
負債純資産合計	19,025,818	19,577,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	7,625,402	8,908,263
売上原価	4,694,754	5,374,614
売上総利益	2,930,648	3,533,648
販売費及び一般管理費	2,103,561	2,332,063
営業利益	827,087	1,201,585
営業外収益		
受取利息	2,318	3,058
受取配当金	9,819	13,073
受取賃貸料	9,198	9,178
助成金収入	14,664	32,036
その他	28,541	27,230
営業外収益合計	64,542	84,577
営業外費用		
支払利息	3,738	7,111
為替差損	209,767	210,711
その他	12,538	21,376
営業外費用合計	226,043	239,200
経常利益	665,586	1,046,962
特別利益		
固定資産売却益	94	196
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	95	196
特別損失		
固定資産除却損	2,002	1,660
固定資産売却損	1,377	34
投資有価証券評価損	13,273	49,221
特別損失合計	16,653	50,916
税金等調整前四半期純利益	649,028	996,242
法人税等	350,731	447,692
少数株主損益調整前四半期純利益	298,296	548,549
四半期純利益	298,296	548,549

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	298,296	548,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,713	△79,479
為替換算調整勘定	△49,675	42,298
その他の包括利益合計	△108,389	△37,180
四半期包括利益	189,906	511,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,906	511,369
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,297,555	1,151,227	7,448,783	176,619	7,625,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,297,555	1,151,227	7,448,783	176,619	7,625,402
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	841,095	△25,420	815,675	11,412	827,087

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	815,675
「その他」の区分の利益	11,412
四半期連結損益計算書の営業利益	827,087

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ポンプ事業」セグメントにおいて、米国子会社TEIKOKU USA INC. は平成22年5月25日にTEXAS PROCESS EQUIPMENT COMPANYのキャンドモータポンプの修理サービス事業を取得したことにより、のれんを計上しております。なお、当該事象による、当第2四半期連結会計期間における、のれんの償却額は5,664千円、未償却残高は164,278千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,689,405	1,051,548	8,740,954	167,309	8,908,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,689,405	1,051,548	8,740,954	167,309	8,908,263
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,223,244	△29,452	1,193,792	7,792	1,201,585

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,193,792
「その他」の区分の利益	7,792
四半期連結損益計算書の営業利益	1,201,585

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により自己株式は、当第2四半期連結累計期間において4億43百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において4億53百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。